

【活動事例の紹介】

教室名	男沼っ子スクール
-----	----------

取組内容

(1) 実施内容

- ① 5月21日(土) 陶芸教室
- ② 6月11日(土) バレーボール教室
- ③ 10月8日(土) 絵手紙教室
- ④ 11月26日(土) ドッジボール大会
- ⑤ 12月17日(土) クリスマス会

(2) 事前準備

- ・協力団体と実施の可否を決定後、実施の3週間前に参加申込書付の参加募集要項を配布した。保護者ボランティアは、事前にPTA理事役員と計画を立てておいた。
- ・参加申込書を回収後、参加人数を把握し準備を進めた。本校は縦割りグループ活動(清掃・学習・遊び)に慣れ親しんでいる。事前に学級担任の協力の下、グループを組織しておき、当日は協力して活動することを多く取り入れた。
- ・コロナ禍でもあり、取組①②④⑤については協力団体と連絡を取り合い、児童同士が密にならないよう適切な会場環境づくりを進めた。
- ・取組⑤は運営委員長や経験のあるPTA役員の方と連絡を取り合い、新しい生活様式下でも楽しめるクリスマス会の在り方を考えて準備を進めた。

(3) 当日の様子

- ・取組⑤のクリスマス会では全校児童61名中、44名が参加し(当日欠席7名)児童が楽しみにしている会であることがよく分かった。十分距離をとった絵本の読み聞かせや、マスク常時着用しての飾り作り、ゲーム大会などを行った。学校関係者は、換気や児童の体調管理を行った。

【コロナ禍のため中止】

4月長勝寺花まつり
7月ぶたの丸焼き大会
長勝寺おこもり会

【陶芸教室】



粘土の器に何を入れようかな？

【バレーボール教室】



【クリスマス会】



工夫した点・ポイント

- 縦割りグループを組織し活動することで、児童・保護者との関わりを増やし、児童がそれぞれの立場で自主的に会に参加できるようにした。「クリスマス飾りを作ろう」では、模造紙の上に輪飾りや折り紙のサンタなどを貼ったり、イラストを描いたりして思い思いの壁面飾りを作った。
- 事前にベテランの運営委員長と新規の保護者との打合せの場を設け、計画書を基に作り上げることで、課題が共有され、来年度への引継ぎや仕事の分担を行うことができた。会計や用途を見直し、支払いをスムーズにした。
- 昨年まで実施していたライダー教室が指導者の高齢化により、本年度開催ができなくなってしまった。新規の活動・指導者を探していたところ、社会教育課明智様より陶芸教室・竹村裕美子先生をご紹介していただいた。先生には本校の児童の様子や施設設備を視察され、快く引き受けていただいた。当日児童たちは粘土の感触を味わいながら思い思いの器物を楽しそうに作り上げていた。後日素焼きされて戻ってくると大切に持ち帰る様子が見られた。

成果・今後の展望

- 本年度は昨年度の経験を活かし運営委員やPTA役員との連携を取ることで、コロナ禍の中においても工夫しながら教室運営をする方法が見えてきた。
- 今後も地域の公民館や寺社、団体と連携をとりながら、教室の在り方を考えていく。
- 運営方法の見直しを図り、PTA役員・地域の方を中心とした地域の後継者を育て、末永く日曜子供教室が運営できるようにしたい。